

技術分野分類 4701：分析化学

技術キーワード H：クロマトグラフィー

産業分類 E-32：その他製造業

内 容	概要	プロテオミクスやメタボロミクスなどの“系”全体の解析を行うため、多成分を網羅的かつ迅速に分析する技術の開発が必要とされている。それが可能で、分析時間を短縮できる平板型カラム(図)を用いた新規二次元分離手法を開発した。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	多種多様な試料成分の網羅的分析には、二つ（またはそれ以上）の分離機構を組み合わせる分析手法がしばしば用いられるが、一般的にその分析時間は長い。これを大幅に改善した手法である。
	本技術の 有用性	生体物質等の多成分を網羅的かつ迅速に分析することが可能。
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品		分離機器 医薬品開発 生化学検査
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	北川慎也 大学院工学研究科物質工学専攻・准教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	産学官連携センター 052-735-5627 / 052-735-5542 c-socc@adm.nitech.ac.jp

■知的財産

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2011年 11月 30日